

妙本寺番神堂



指定区分	国指定重要文化財(建造物)
読みかた	みょうほんじばんじんどう
所在地	吉備中央町北
指定年月日	昭和2年4月25日
解説	<p>妙本寺は日蓮宗寺院で、鎌倉からこの地に地頭として移住した伊達朝義が創建したとされ、「西身延」とも呼ばれている。明応6年(1497)に寺に寄進されたとの伝承がある。一間社流造り、こけら葺き。桁行、梁間とも一間。番神堂は法華経を守護する三十番神を祭る堂社。前面から側面の装飾彫刻は一流の大工が腕をふるったものと推察され、彩色された柱、組物などとともに県内屈指の華麗さを誇る。小型の社殿であるが、桃山時代の特色を持つ優れた建造物である。</p>
アクセス方法	賀陽ICから車で15分
公開状況	外観のみ
設備	駐車場  トイレ 
備考	